

会 議 録

会 議 名	令和2年度（2020年度）第4回八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	
日 時	令和3年（2021年）3月23日（火）午後1時30分～2時30分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 802会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁会長、荒井容子委員、石井淳委員、石田健太郎委員、岡崎理香委員、佐戸博委員、澤井菊男委員、田上美穂委員、松野美樹委員、森直美委員、若林育男委員（会長、以下五十音順）
	関連所管	
	事 務 局	小俣子ども・若者支援担当課長、吉森保育幼稚園課長、小林子育て支援課長、東郷子ども家庭支援センター館長、鈴木主査、秋元主査、吉岡主査、小野主査、宮司主任
欠席者氏名	池水大委員、内野彰裕委員、大宝院清孝副会長、町田利恵委員、山本由佳理委員	
議 題		
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	別紙のとおり	
会議の内容	別紙のとおり	

（別紙）配付資料

- 資料1 八王子市教育・保育施設における誤嚥事故検証報告書
- 資料2 幼児教育・保育センターの設置について
- 資料3 若者総合相談センターの移設について

(会議の内容)

【事務局】

ただいまより、令和2年度第4回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を始め。本分科会委員総数は16名で、本日の出席者は11名で開催要件を満たしている。

【小俣子ども家庭部長】

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な変化がある中、皆様の御理解・御協力の中で今回の全体報告を迎えられた。昨年の9月に発生した重大事故の検証部会も分科会の中で開催した。部会の委員を務めてくださいました方については、御礼を申しあげる。

この3年間では、幼児教育・保育の無償化、子ども・若者育成支援計画の策定、若者総合相談センターの開設、幼児教育・保育センターの設置等があった。

今年度で任期を終えられる方につきましては、ここで改めて御礼を申しあげる。また、引き続き委員をお願いする方については、子ども施策について引き続きお力添えをいただきたい。

■八王子市教育・保育施設における誤嚥事故検証報告書に係る答申について

【事務局】

「八王子市教育・保育施設における誤嚥事故検証報告書に係る答申について」報告

【若林委員】

私は社会福祉協議会で学童保育を担当している。ケースは違うが、アレルギーを持つ子どもを何人か預かっており、事前に保護者からアレルギーの情報をいただき、日々確認を行っている。この報告書の中に、子どもの健康管理のリスク対応があるが、おそらく施設の方でも日頃からこういうものは出さないように、出すならどういう大きさにする等、色々な指針があると思う。それは全体的な話で当然だとは思いますが、個別で考えたときに、既往症があり、その旨を保護者から口頭で連絡があったのであれば、例えばブドウの大きさを小さくする、形を変える等、対応が出来たのではないかと思った。

【井上会長】

アレルギーに関してはどこの園でも非常に丁寧に対応していて、この園でも丁寧に対応していたが、他の健康面に関する共有や記録が不足していた。誤嚥防止についてはこれから市として対策が練られていく。

【佐戸委員】

誤嚥事故がなくなるのはなぜか。

【井上会長】

18、19 ページを見ていただくと、食べ物に関してだけでもこれだけある。これ以外にも遊びの中で言うとボタン電池、ビー玉等様々ある。小児科学会等のホームページ等を見ると、全て事例として載っている。幼児教育・保育施設としてこれらを見ていただいて、注意をしていくというのは当然であるし、現場の中には非常に注意をしていて、遊びの後、床に落ちているものは全て確認をする、ビー玉を何個出し何個しまったのか確認する等、そこまでやっているところもある。食べ物に関して見ていただくと、事故が起きたときには皆さん危ないと思われるが、時間が経つと忘れてしまう。そしてまた事故が起きる。ガイドラインに載

せても知られていない。これをどうしていくのか、子育てプロモーションの中でも非常に大事である。改めて繰り返し発信していく。それを各園には周知したい。やっていただかないといけない。そこが今回の報告書のもう1つの柱である。

【佐戸委員】

現場の皆さんが実施できるような対策をしていただきたい。

【井上会長】

はい。それを新年度の委員の皆さんにチェックしていただきたい。

【石田委員】

報告書9ページに、幼児期の教育・保育における全ての子どもの安全に関与する基準等及び認可基準や実地調査要綱等の見直しや検討を行うとあるが、現状、市の要綱等の改訂の方向等について進捗状況を伺いたい。

【井上会長】

仕組みの中で何ができていなかったのかは報告書の中で少し述べている。ガイドラインにこれらを盛り込んでいく作業をどうするのか、来年度以降に期待する。

【石田委員】

体系ごとにマニュアル等が共有されていない。統一していく方向で進めていくのがいいのかなと思う。

【井上会長】

各園ではこれを受けてそれぞれで取り組んでいただく。公立保育園の質に関してのガイドラインまでは出来ているため、その後どのような取組をされるのか、ぜひ協議いただいて、審議会では必要性等については御意見いただければいいと思う。私は必要だという立場で報告書をまとめている。それらの議論を進めてほしい。

【吉森保育幼稚園課長】

重大事故検証部会の中で事故防止等に関わるガイドラインが施設側にきちんと伝わる仕組を考えた方がよいとの意見をいただいたため、まず出来る事として、保育幼稚園課ホームページに事故防止等に関わるガイドラインや通知をまとめて公開した。今後も継続していく。また、現在公立保育園で事故防止のマニュアルを定めて運用しているが、こちらは元々八王子市私立保育園協会の力をいただいて策定したもので、今は公立だけとなっているが、今後はこれをベースにして保育園、幼稚園等にも活用いただけるガイドラインとしていきたいと考えている。

【田上委員】

どうしてぶどうがまるごと出てきて、これは危ないと誰も思わなかったのかと不思議である。指摘する先生はいなかったのか。親の目線で子どものことを考えると色々なことに気が付く。現場での気付きも大切だと思う。

【井上会長】

給食委託業者に依存していたことも原因の1つであると報告書では指摘している。園は何もしていなかった訳ではなく、皮を剥いて食べるということを教えてはいた。しかしそれだけでは十分ではない。現場の方々には情報が行き届いていなかった。そういうところを丁寧に伝えてマニュアルを見ていただきたい。保護者の方も含めてそういう情報発信が必要

である。

■ 幼児教育・保育センターの設置について

【事務局】

「幼児教育・保育センターの設置について」説明

【井上会長】

子どものしあわせ課の名前が変わるのか。

【事務局】

子どものしあわせ課は残る。幼児教育センターという位置づけの施設は、26 市の中で八王子市が初めてになる。

■ 若者総合相談センターの移設について

【事務局】

「若者総合相談センターの移設について」説明

■ 八王子市子育て応援サイトのスマートフォン版サイトの開設について

【事務局】

「八王子市子育て応援サイトのスマートフォン版サイトの開設について」説明

【井上会長】

これは Facebook や Twitter と連動させているのか。

【事務局】

Facebook を更新すると自動的にサイト上に表示される。

【井上会長】

報告事項は以上である。事務局から他に何かあるか。

【子ども・若者支援担当課長】

高校生による街づくり提案発表会を新規の事業として先月開催した。4校の高校生が探求学習の学習成果の発表として、直接市長・教育長に思いを届けるということで、オンラインであったが有意義な発表ができた。実際に生徒から、直接声を聴いた市の職員の感想が聴けたこと等が、今後の学習意欲の励みになると言われた。この事業については、参加校の拡大を考えながら、次回は会場開催の方向で進めていけたらと思う。

【井上会長】

ここに中学生サミットも入ってきて、いいシンポジウムが出来ると期待している。

以上で会議を終了する。ありがとうございました。